

平成 25 年度第 7 回理事会抄録

日時：平成 25 年 11 月 16 日（土） 13：00～16：57

場所：一般社団法人日本作業療法士協会事務所 10 階会議室

出席：中村（会長）、山根、清水（副会長）、荻原、小林正、陣内、土井、三澤、山本（常務理事）、宇田、大庭、小川、荻山、小林毅、高島、谷、藤井、宮口（理事）、古川、長尾、早川（監事）

傍聴：富岡（WFOT 代表）、岡本（財務担当）、岩佐（都道府県士会連絡協議会長）

I. 審議事項

1.平成 26 年度重点活動項目（修正案）について（荻原事務局長）
前回理事会に提案し、その場での理事の意見をもとに文言等、修正を加えた。 →承認

2.第二次作業療法 5 カ年戦略工程表（修正案）について（荻原事務局長）
前回理事会提案後、担当部署の確認を経たが、大きな変更はなく、文言等に修正を加えた。 →承認

3.生活行為向上マネジメント推進プロジェクトのグランドデザイン（修正案）について（土井事務局次長）
前回理事会での適切でない表現等の指摘をすべて修正した。これに対し、士会への助成金、グランドデザインの内容についての検討要望等、意見があったが、この方向で提出する。 →承認

4.都道府県作業療法士会連絡協議会との諸問題に関する整備作業について（宇田士会組織担当理事）
12 月 21 日の協会と都道府県連絡協議会の意見交換会にて検討すべき問題を、事前に連絡協議会に提示する内容の案が提示され、検討した。協定書の締結、連絡協議会のあり方等に議論が多く交わされたが、提示する内容の順序を変える等の修正をする。 →承認

5.平成 26 年度作業療法推進活動パイロット事業の審査結果について（宇田士会組織担当理事）
申請された 3 件の審査結果について審議された。不採択の理由、助成額減額の根拠を明確にする。 →承認

6.委員会の新設について（中村会長）
平成 26 年度より国際部の部内委員会として WFOT 委員会を、法人管理運営部門に特設委員会として 50 周年記念誌編集委員会を、それぞれ新設する。 →承認

7.平成 26 年度事業計画案・予算申請状況について（岡本財務担当）
各部より平成 26 年度の事業計画と予算申請書について説明がされ、その後、財務担当より収入 6 億 4,604 万 5,000 円、支出 6 億 4,086 万 9,000 円の収支予算案の説明がされた。 →継続審議

8.役員常勤化に向けた条件の整備について

①常勤役員に求められる役割と役職について（荻原事務局長）5つの項目の役割とそれに対する役職の役割案が挙げられ、検討された。→一部文言を修正して承認

II.報告事項

1.フィリピンの台風被害への見舞金拠出について（中村会長）会長専決で見舞金50万円の拠出を決定し送付した。

2.認知症初期集中支援チーム対応プロジェクトの活動報告（小川認知症初期集中支援チーム対応プロジェクト特設委員長）①11月1日、厚生労働省老健局に対して認知症初期集中支援チーム対応プロジェクトの進捗状況の報告をし、認知症に対する日本作業療法士協会の取り組みを説明した。②認知症初期集中支援チームに対応する作業療法士のための研修会が東京、岩手、大阪で来年2月、3月に行われる。

3.渉外活動報告

高島理事：10月28日、リハ医療関連団体協議会の診療報酬部会に出席。委員長より10月10日に厚労省に訪問した際の報告がされた。次々期診療報酬改定における要望の項目案、次期診療報酬改定における要望の項目案の提示が宿題事項として出された。

小林毅理事：11月16日、チーム医療推進協議会運営会議に出席。厚労省の助成金事業としての検証が2月16日に笹川記念会館にて行われる。

4.協会・士会間の連絡調整会議について（宇田士会組織担当理事）

1月18日に行われる連絡調整会議のプログラムの案が示された。前半1時間で各部よりの報告と説明、後半を連絡協議会との間の諸問題に関する意見交換会とする。

5.WFOT 大会準備作業についての経過報告（山根 WFOT2014 担当理事）学術関係は形が整った。発表者は12月中に参加登録を済ませることとなっている。現在、大会費用が大幅に不足しているので、会員の方の寄付をよろしく願います。

6.倫理問題事案 2013-6 について（荻原倫理委員長）9月理事会での除名処分の仮決定をもとに、本人・家族宛てに配達証明にて通知した。その後、異議申し立てがないことから、除名処分決定を次回総会に上程する。

7.その他

小林正理事：生活行為向上マネジメントのマニュアルとリーフレットの案を今回再提出した。来週末までに、気づかれた点を連絡いただきたい。

谷理事：一般在団法人訪問リハビリテーション振興財団の訪問リ

ハステーションの「浜通り」と「ゆずる」の現況が報告された。
宮口理事：広島大学の研究の報告書「福島県相馬市の仮設住宅住民の震災後の生活の特徴－作業バランスの観点から－」という冊子がまとまった。

以上